

国際的人材育成事業 — オーストラリアプレ体験留学を終えて

近年、日本では海外に留学する若者が減少しており、国においても留学生の倍増計画やグローバルハイスクールの指定など、若者を対象としたグローバル人材育成のための施策が打ち出されています。このような時代の背景を受け、当財団でも岡山県の学生・生徒にグローバルな意識を持ってもらおうと、毎年オーストラリアTAFEへのプレ体験留学を行っています。

今回は2009年にプレ体験留学へ参加し、高校卒業後オーストラリアへ留学を決め、TAFEを卒業した岩崎貴大さんとお父様の岩崎耕造さんにお話を伺いました。(財団・植月)



Father and Son, Talk about the abroad

私でもできる

息子・岩崎貴大さん

父と息子
留学を語る

留学は両親の勧め

高校時代、私は特に夢もなく、就きたい職業もなく、ただ部活や友達と会うのが楽しいだけの高校生でした。そんな私にオーストラリア留学を勧めたのは両親でした。正直最初は留学へ対する強い思いがあったわけではありません。しかし留学について説明を受けるうちに、将来を考える一つの方向的にいいかもしれないと思うようになり、まずはプレ体験留学への参加を決めました。

プレ体験留学では、TAFEでどのような資格を取得できるのか、また、オーストラリアの生活はどのようなものなのかを身をもって知ることができました。実際にカレッジを回り、そこで学ぶ多様な国籍の学生を目の当たりにしたとき「留学しても一人じゃないんだ」と安心し、同時に「私でもできるのではないか」と考え始めオーストラリア留学を決意しました。私にとってプレ体験留学は、将来を考えるうえで実際に海外へ目を向けるきっかけとなったのです。

将来は必ずオーストラリアへ

オーストラリアでは9か月間TELCへ通い、その後TAFEで2年半グラフィックデザインを学びました。その間、いろんな国籍の友達ができただけが一番良かったことです。私はもともと内気な性格でしたが、人と話したり関わりを持つことが好きになったのもオーストラリアのフレンドリーで大らかな雰囲気のおかげだと思っています。

今は帰国し、岡山市内のデザイン会社に勤務しています。仕事をする上でのスキルはもちろんですが、同僚や上司へも自分の意見をはっきり伝えようとするところはTAFEやオーストラリアでの生活で身についた力だと思えます。

将来はTAFEで学んだ知識を使って日本で経験を積み、その後必ずオーストラリアへ戻り、オーストラリアで就職することが今の私の目標です。

留学させた親の思い

父・岩崎耕造さん

海外へ向かってレールを引こう

息子の留学について、私は大いに賛成でした。というのも、私は仕事で海外へ行くことが多かったので、留学ということにさほど大きな壁は感じていなかったのです。むしろ、これからの時代は日本人も積極的に海外へ進出し、世界をまたぐような仕事をしていかなければならないと思っていました。

わが家は息子が小学生の頃にタイ人の留学生のホストファミリーになった経験があります。1年間でしたが、彼女は私たち家族の一員となり、日常生活から日本の文化や生活・言語を学びました。帰国する頃の彼女の成長ぶりは素晴らしく、もし息子が親元を離れ海外留学したら、一回りも二回りも大きく成長してくれるのではないかと期待しました。そこで私たちは息子が「世界で活躍したい」と思えるような、海外へ目を向けられるような機会を作ろうと決意したのです。

自分の人生を決めるための留学

海外留学をサポートする企業はたくさんありました。息子を連れ、大阪などへも説明会へ出向きましたが、とりわけ私はGCAの創立者である福武総一郎さんのお話に感銘を受けました。「これからの時代を生きる若者は、世界に通用する確かなスキルを身に付けなければならない」という、そのポリシーが私の思いと合致したからです。

息子はオーストラリアで約4年間の留学を終え帰国しました。留学前は何事にも消極的でおとなしいだけの子どもでしたが、今の息子は自分の意見をはっきり言えて自信に満ちています。親に頼らず、ひとりでたくましく生きてきた成果だと感じております。このように成長したわが子を見ると、この選択は間違っていなかったと確信しております。

すべてはプレ体験留学から始まりました。彼にとってプレ体験留学での経験は、本当に自分は海外でやっていたのかどうかを判断する最高の機会になったのです。

当財団では今年も8月にプレ体験留学を予定しています。また、昨年度のプレ体験留学をまとめた報告書もあります。詳しくは財団事務局までお問い合わせください。

「語学留学にとどまらない留学」について、考えるきっかけになるのではないのでしょうか。

- ※TAFE(テイフ)：オーストラリア州政府が運営する公立総合高等職業教育機関。多様な専攻コースがあり、「実践的な教育」が重視された指導内容で各業界の第一線で活躍する人が指導する。資格取得後は大学へ編入も可能。
- ※ベネッセGCA(グローバルキャリアアカデミー)：ベネッセがシドニーに設置している留学生をサポートする機関。日本人スタッフが常駐し留学生の生活全般をサポート。保護者には定期的に様子を伝えている。
- ※TELC(テルク)：TAFE附属の英語学校。英語圏外からの留学生にTAFEで学ぶために必要な英語力を身に付けるための学校。日本からの留学生のほとんどがここで学び英語力を付ける。

